

報道関係者 各位

2015年4月15日
公益財団法人日本デザイン振興会



日本デザイン振興会・国際的デザイン賞「iFデザインアワード」初の共同企画として開催 日本企業のデザインの取り組みを5月にドイツで紹介

「グッドデザイン賞」を主催する公益財団法人日本デザイン振興会は、国際的なデザイン賞として60年以上の実績を誇るドイツ「iFデザインアワード」との初の共同企画となるイベント、“How Japan Design can serve the societies.”を5月6日から6月12日までドイツ・ハンブルクで開催します。How Japan Design can serve the societies.は、エレクトロニクスや家具などの分野で日本を代表するグッドデザイン賞を受賞した5企業による、製品やプロジェクトのデザインの出展と、各企業のデザイナーによるプレゼンテーションで構成されるイベントです。「デザインが今後の生活と、新しい社会システムを構築していくためにどのように機能できるか」という世界共通の課題に対する各企業の取り組みとともに、その最前線を司るデザイナーの視座を紹介します。今回、世界のデザイン分野を牽引する二つのアワードによる初めての連携効果により、日本企業のデザインのポテンシャルをヨーロッパに発信し、日本とヨーロッパのビジネス・デザイン分野の交流を強力に推進します。

●How Japan Design can serve the societies.

日程: 展示 2015年5月6日-6月12日

キーノート&レセプション 5月22日 18:00～

デザイントーク 5月23日 Session 1: 13:00～ Session 2: 15:00～

会場: iF design exhibition Hamburg (Elbarkaden/HafenCity,
Hongkongstraße 6, 20457 Hamburg)

参加企業: カリモク家具株式会社・キヤノン株式会社・ソニー株式会社
パナソニック株式会社・富士通デザイン株式会社

(4月15日時点の参加予定企業)

プレゼンター: 参加企業次頁参照、益田文和(公益財団法人日本デザイン振興会理事)、Mr. Ralph Wiegmann (CEO, iF)、Prof. Fritz Frenkler(Jury chairman, iF Design Award 2015)

主催: 公益財団法人日本デザイン振興会、iF International Forum Design GmbH



展示会場となるiF design exhibition Hamburg



カリモク家具株式会社



キヤノン株式会社



ソニー株式会社



パナソニック株式会社



富士通デザイン株式会社

本件への報道関係者のお問い合わせ: 株式会社オズマピーアール 担当: 松林、石塚、鈴木

Tel: 03-4531-0214 E-mail: jdp@ozma.co.jp

一般からのお問い合わせ: 公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局

Tel: 03-6743-3777 E-mail: info@g-mark.org

各企業による参加内容:

【カリモク家具株式会社】カリモクニュースタANDARDー小さなブランドがひらく新しい世界

カリモクが自らの殻を破るべく、サステイナブルなコンセプトに共感した若手デザイナーたちと共に2009年に立ち上げた、「カリモクニュースタANDARD」ブランド。この新たなブランドがどのように歩みを重ね、企業の先進的な取り組みとして世界と向き合おうとしているのかを紹介。

展示対象:カリモクニュースタANDARD キャストールチェア

プレゼンター: Arjan van Well (UP./Overseas Marketing & Sales for Karimoku New Standard)、Augustin Scott de Martinville (BIG-GAME, Designer)、Grégoire Jeanmonod (BIG-GAME, Designer)

【キヤノン株式会社】キヤノン カメラデザイン 伝統と挑戦(仮)

カメラに求められる普遍的な本質を追求し、その時代における先進のテクノロジーにより撮影者が意のままに操れる操作体験を提供する。常に時代を切り開くオリジナリティのあるデザインを創造することがEOSデザインのDNAであり、そのDNAは現在のデザイナーたちにも脈々と受け継がれている。

展示対象:EOS C100、CN-E85mm T1.3 L F、EOS-1D X、EF24-70mm F4L IS USM、EOS 5D Mark III、EF24-105mm F4L IS USM、T90、CINEMA EOS SYSTEM (EOS C300,EF CINEMA LENSES)

プレゼンター:キヤノン株式会社 総合デザインセンター 室長 井ノ上学

【ソニー株式会社】デザインと新規事業プロジェクトの連携

新たなビジネスを創出するために2014年4月に開始したソニーの「Seed Acceleration Program : SAP」。このソニーの新規事業創出プログラムのプロジェクトにデザインがどのように貢献しているか、デジタルとフィジカルを組み合わせたものづくりをすべての人が楽しめるようにするというコンセプトで事業化を目指す「MESH (Make, Experience, Share) 」を例に紹介。

展示対象:MESH (Make, Experience, Share)

プレゼンター:ソニー デザインセンター ヨーロッパ 石井大輔

【パナソニック株式会社】‘Future Craft’ パナソニック デザインフィロソフィー

明るい未来へつなげる先進のデザインと、信頼を築く環境と人への細やかな心配り。これらを洗練された丁寧なものづくりによって商品デザインに表現する、パナソニックのデザインフィロソフィー「Future Craft」。このフィロソフィーをベースに世界で評価されたデザインを紹介。

展示対象:レンズ交換式デジタル一眼カメラ DMC-GM1K、LED電球 LDA4LC、LEDネックライト BF-AF10P / BF-AF11P、スチームアイロン

プレゼンター:パナソニック株式会社 デザイン戦略室 主幹 的場久吉

【富士通デザイン株式会社】富士通のデザイン活動～ビジネスの未来をデザインする

富士通のブランド活動の一環として、ゆるぎない「信頼性」を提供するビジネスシステム製品のデザイン活動を展示、富士通におけるデザインのフィロソフィー、昨今の取り組み事例や果たす役割、今後のビジネスに向けた活動を紹介。

展示対象:PC, Server, Storage system, Super computer他、The Environmental Management Dash Board

プレゼンター:富士通デザイン株式会社 サービス&プロダクトデザイン事業部 部長 川見充彦

参考資料:

グッドデザイン賞(Gマーク)について

グッドデザイン賞は1957年に創設された日本を代表するデザイン賞です。身の回りのあらゆるジャンルのもをデザインとしてとらえ、評価を行うことが特徴です。商品をはじめ建築、各種のアプリケーションやソフトウェア、デザインを活用したプロジェクトや取組に至るまで応募が可能で、私たちの社会を築き、暮らしの豊かさを導くさまざまな「よいデザイン」を見出しています。さらに、受賞したデザインを、展示や販売企画、メディアとの連携など各種のプロモーションを通じて社会へ広く伝えていることもグッドデザイン賞の特徴です。多くの人々がデザインに接し、その意義を実感することができる環境づくりを担っています。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は80%もの認知率※を誇り、「よいデザイン」の象徴として広く親しまれています。

※日本デザイン振興会による2014年度インターネット調査結果。

iFデザインアワードについて

iFデザインアワードは、1953年に設立された国際的なコンペティションです。デザインに関するサービスを幅広く提供し、デザインに対する社会の関心を高めることを目的として、国際的に活躍する専門家からなる審査員が傑出したデザインの数々を評価し、品質の証、マーケットのバロメーターとして、デザイン界を牽引しています。iFマークは優れたデザインと高品質の証として認められており、受賞者は世界からの注目を手にするだけでなく、ロゴ使用权をはじめとする受賞プロジェクトPRのためのさまざまな特典を享受することができます。

